

家庭教育を見なおす

～子どもと共に親も学ぶ～

提 言

平成12年3月

富山経済同友会

家庭教育を見なおす

～子どもと共に親も学ぶ～

1. はじめに

日本の教育の現状が憂慮すべき状態にあることは、衆目の一致するところである。

富山経済同友会は、教育問題に取り組むことが、継続的な経済の発展に寄与するばかりでなく、次世代の日本という国家の在り方をも決定する最重要課題であると考え、平成10年度から検討を重ねてきた。

しかし、教育についての現状や問題点はすでに多岐にわたって様々に議論されてきた。問題の全体像については、別紙「表1 教育問題の全体像」に簡単にまとめたので、参照いただきたい。

富山経済同友会では、「しつけ・道徳・倫理観の醸成」など、いわゆる「学力」以前の家庭教育を見なおすことが極めて重要であると考え、当会としての取り組みをまとめた。

2. 提言：家庭教育を見なおす

～子どもと共に親も学ぶ～

家庭においては、親の「子育て放棄」や「児童虐待」、「親子間での無会話」、子どもによる「家庭内暴力」といった現象が発生している。背景としては、親によるしつけがきちんと行われていない、父親不在で父権が確立できていない、仕事優先で教育が母親任せになっていることなどがある。さらに、核家族化の進展や価値観の多様化等の社会の変化の中で、親自身がすでに倫理観を喪失している場合や、自らの責任を放棄し子育てを家庭以外の教

育機関に任せてしまっていることもある。

また、学級崩壊が大きな問題として取り上げられているが、近年の成人式における新成人の行動を見ても分かるように「学級崩壊」という現象は、すでに大人社会に広がっている。

新人類と言われた世代が既に社会人となり「人の親」となっており、こうした親たちの「しつけ・道徳・倫理観」に問題があることも多い。

こうした状況に鑑み、富山経済同友会は『**家庭教育を見なおす～子どもと共に親も学ぶ～**』ことを提言する。

3. 提言実現への具体的行動

3.1. 富山経済同友会の会員

(1) 「家庭を考えるフォーラム」の開催

富山経済同友会の会員各企業は、子どもを持つ従業員とその子どもたちや地域住民が参加する「家庭を考えるフォーラム」を開催する。

外部講師による講演や親同士の意見交換会など、フォーラムを通じて、「父親・母親」を再認識し、家庭教育について、子どもと一緒に学んでいくことを目指す。

「家庭を考えるフォーラム」の開催については、定期的な実施できるよう、企業研修カリキュラムに組み込むことも、今後検討していく。

(2) 課外授業の講師

富山経済同友会の会員は、「特別非常勤講師制度⁽¹⁾」や「先輩に学ぶ時間⁽²⁾」等を活用して、課外授業の講師として積極的に参加する。

企業経営者の話は、人生の先輩として生き方や考え方を伝えると共に、親の仕事の一端を知る機会ともなる。家庭内で、父権・母権を復活し、家庭教育をスムーズに進めることを目指す。

- (1 : 幅広い経験と優れた技術を持つ社会人が小中学校の講師となり授業を行う制度)
- (2 : 社会人となった小中学校の卒業生が、自分の経験や技術について、母校で授業を行う制度)

(3) 地域コミュニティ支援

富山経済同友会の会員各企業は、地域コミュニティ活性化の一環として、

- ・地域住民を対象とした企業の親子見学会を実施する。
- ・地元イベントに企業用地を開放しコミュニティ作りの場を提供する。

など、これまで以上に積極的に地域住民の交流の場作りを行う。

地域コミュニティの活性化により、地域のお年寄りが祖父母代わりとなり、住民全体で地域内の子どもたちとその親たちを育てる意識を高めることを目指す。

3 . 2 . 富山経済同友会

(1) 交流勉強会の実施への協力依頼

富山経済同友会では、「PTA」や「学校評議員^(3)」と富山経済同友会の会員との交流勉強会を開催したいと考えている。家庭教育の問題について経済界でできることは何かなど、具体的な行動に結びつく交流勉強会としたい。

また、「県教育委員会」「市町村の教育委員会」「学校長」「教職員」等教育関係の方々とも、交流の場を持ち、意見交換を行いたい。

ぜひ、各界のご協力をいただきたい。

- (3 : 今年4月から実施される「学校評議員制度」で選出される評議員)

(2) 本提言の積極的発信

本提言を県内の教育関係の方々にできるだけ広くお伝えすると共に、全国に向けても積極的に発信する。県内外に富山経済同友会の活動を知らしめることで、教育問題解決の参考にしていただき、また富山県をアピールする。

従来、提言は記者発表すると同時に、県内の地方公共団体と全国の同友会事務局等に送付するに止まっていた。今回は、これに加え、以下のとおり、提言を発信する。

- ・ 県や市町村の教育委員会、および主要図書館に送付する。
- ・ 全国の同友会の代表幹事、文部省、各県の教育委員会に送付する。
- ・ 教育関連のウェブサイトへアップするなど、インターネットを活用する。

4 . おわりに

本提言は、「しつけ・道徳・倫理観の醸成」などを、主として家庭の教育問題という視点に立って、解決への行動を提示した。

しかし、「しつけ・道徳・倫理観の醸成」という問題であっても、決して家庭だけで教育するものではない。家庭、地域社会、学校という三者が連携し、一体となって進めていくべきであることは、言うまでもない。

富山経済同友会は、今後も教育問題について考察し、教育関係の方々や地域住民の方々と協力しながら、問題解決に向けて行動していきたい。

以 上